

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

3階までお散歩して、投票してね!

24匹の猫たちが立候補!

朝倉文夫の猫 AKN24 総選挙 @日比谷

日比谷図書文化館 3F:ブルーゾーンにて開催

2階でブロンズの猫がごあいさつ  
【原題不明(右前足上げる)】



◆AKN24総選挙◆3階ブルーゾーン

彫刻家、朝倉文夫の猫作品24点の人気投票を行っています。ブルーゾーンの中に隠れている猫たち(写真パネル)を探して、お気に入りの3点まで投票して下さいね。




◆1階特別展「アートになった猫たち展」関連展示◆

2階パープルゾーン三角台

図書フロアに散らばっていた猫本を集めました




Exhibit Information 6月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「改」(～9/13) NEW!

新元号「令和」を迎えては約一月。江戸から東京へと大転換した明治維新、関東大震災から復興するための新たな都市計画、1964年東京オリンピックを含む高度経済成長、そして再び迎えるオリンピックイヤーに向け、東京がどのように変化しつつあるのかを軸に、政治経済や文化についても「改」をキーワードに資料を集めました。

3F グリーンゾーン 「豊かな暮らし」(～6/14)


「豊かな暮らし」とはなんでしょう?衣食住、健康、仕事、お金、人間関係など人の数だけそのものさしがあります。あなたにとっての「満ち足りた暮らし」を探る展示です。

展示 PICK UP

■3Fブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたフロア ～8/16(金)

「比」くらべる

過去と未来、朝と夜、生と死など、世の中には対になる物事や現象が多数存在します。今回の展示ではそのような対になる言葉を11テーマに分けて比べました。一方を見る、その反対側にあるもう一方を見る、そして全体を見ることで視界や思考がフラットになり、常識や思い込みには捉われない「新たな視点」が見つかるかもしれません。



見比べる、読み比べる、固定観念を外してみる。

『きんしやい 有田珠玉の器紀行』 ARITA SELECTION プロジェクト 編 CCCメディアハウス 2016年

『アンティークポーセリン ドレスデン絵付け工房 技と心』 山田美恵子 編著 文化出版局 2008年(絶版)



■3Fエレベーターホール【ガラスケース】 ～6/16(日)

日比谷カレッジ「戦争と暮らしの手帖」関連展示 『戦中・戦後の暮らしの記録』を編んで～

5月31日(金)開催の日比谷カレッジ「市井の記憶を記録する～『戦中・戦後の暮らしの記録』を編んで～」に関連して、暮らしの手帖社が「庶民の戦争の記憶」を残すため、読者から原稿を募集して刊行した『戦争中の暮らしの記録』、『戦中・戦後の暮らしの記録 君と、これから生まれてくる君へ』の投稿原稿やパネルの他、時代を映し出す『暮らしの手帖』バックナンバーを展示しています。

写真や手紙から戦中・戦後の庶民の暮らしを知ることができます

▲投稿された原稿の現物と、実際に掲載された誌面をご覧ください

▲読者の生活に寄り添った特集記事や、『暮らしの手帖』創刊者の花森安治氏が装丁を手掛けた本



From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

アレツ!? こどもの本っておもしろい!! 役に立つ!!

おとなもハマる!! こどもの新書

千代田図書館 企画展示

意外と難しいおとな用の入門書。それよりも、中高生向けの「子ども用新書」は、おとなの学び直しに最適なツール。著名人もお薦める「子ども用新書」を紹介するとともに、読み比べられるように、おとな用の関連書籍も展示。

場所 千代田図書館 9階 展示ウォール

会期 5月27(月)～8月24(土) 休館日:6月23日(日)、7月28日(日)

アレツ!? こどもの本っておもしろい!! 役に立つ!!

おとなもハマる!! こどもの新書

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別研究室の古書から 知る。 当世の世界を

日比谷図書文化館の4階にある特別研究室には16世紀の西洋の航海記を網羅する大叢書「ハクルート叢書」第一期刊行本の100冊がほとんど揃っている他、地図や挿絵に魅力がある探検記、地理書、諸外国の写真帖や海外の旅行本も豊富です。インターネットはもちろん、テレビ放送もまだ始まっていなかった時代、人々は世界各地の情報を本や雑誌などの印刷物から得ていました。本を開けば当時の世界にタイムスリップし、世界各地の様子が目の前に広がります。現在の世界につながる、古書の世界を楽しんでください。

WEST

ロンドンのコヴェント・ガーデン地区に所在する歌劇場。ロイヤル・オペラ・ハウス。左隣のガラスの建物は果物市場。

「西洋」



AFRICA

17世紀から18世紀頃のンバンザ・コンゴ(コンゴ王国の首都)。コンゴ王国は中部アフリカ大西洋岸にあった王国(現在はアンゴラ共和国)。2017年にアンゴラでは初の世界遺産に登録された。

「アフリカ」



特別研究室企画展示

「内田嘉吉が愛読した米国雑誌」～『The American Monthly Review of Reviews』と『The National Geographic Magazine』～

開催中～6月30日(日)

国際派官僚・内田嘉吉は日本が諸外国からどのように見られていたかに関心を持っていたことにちなみ、日本関連記事を中心に紹介しています。



EAST

シャム王国(現在のタイ)王子と侍従。当時のシャム王国はミュージカル「王様と私」の舞台になったチャクリー王朝の時代。本書は10年に及ぶマラッカ、インドシナ、中国への旅の記録で、その文化的・歴史的重要性から今も出版が続いている。

「東洋」



calendar 開館時間:平日10時～22時 土曜10時～19時 日祝10時～17時 休館日

2019年6月							2019年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

access

〔都営地下鉄〕 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 ●丸ノ内線「日比谷駅」丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分 ●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。



# 6・7月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、**当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 6/7 (金) 朝倉文夫の猫たちと朝倉彫塑館 ～朝倉文夫の猫 AKN総選挙@日比谷、中間発表もあるにゃん～

講師：戸張 泰子(台東区立朝倉彫塑館 主任研究員)

大の猫好きで彫刻家として初の文化勲章を受けた朝倉文夫は、数多くの生き生きとした猫の像を制作し、今も人々を魅了しています。その朝倉の猫の作品と、谷中のアトリエ兼、住居で教育の場となった朝倉彫塑館(国指定名勝)の魅力をご紹介します。(協力:台東区立朝倉彫塑館)



《たま(好日)》1930年

■日時:6月7日(金)19:00～21:00(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名  
■参加費:1000円

## 6/13 (木) 活字のかたち鑑賞会 その2 秀英体の生命力

講師：伊藤 正樹・宮田 愛子(大日本印刷株式会社 秀英体開発グループ)

明朝活字の代表的な書体、秀英体。100年以上の歴史を持つこの書体は「広辞苑」や新潮文庫など、現在も多くの書籍に使われているため、本好きの方ならどこかで一度は目にしたことがあるかもしれません。書体がどのように作られるか、印刷と活字の歴史、利用事例なども交えて、これまでとこれからの「秀英体」をお話いただきます。



左:手書き原図(1972年) 右:デジタル化(2009年)

■日時:6月13日(木)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:1000円

## 6/18 (火) 三国志 それぞれの国のかたち(全3回) 第3回「伝統を守りつづける 蜀」

講師：渡邊 義浩(早稲田大学文学学術院教授)

「漢」という、後の国家が規範とする「古典中国」が崩壊したのち、中国は魏・蜀・呉の三国が並び立ちます。同じ時代に建国されながら、三国のかたちはそれぞれに異なるものでした。混迷のなか、三国志の英雄たちが模索した国のかたちを比べてみましょう。

■日時:6月18日(火)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:1000円



諸葛亮(成都武侯祠)

## 6/25 (火) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー「私の修業時代」 俳優の道 ～真剣勝負で挑んだ日々、そして今

講師：滝田 栄(俳優)

1983年NHK大河ドラマ「徳川家康」(山岡荘八原作)で主演・家康を演じて人気を博し、舞台「レ・ミゼラブル」では14年間主演ジャン・バルジャンを務めた俳優 滝田栄氏。俳優業にとどまらず、幅広く映像制作にも打ち込む滝田氏にとっての修業、修業時代とはどのようなものだったかを伺います。(主催:公益財団法人 上廣倫理財団、共催:日比谷図書館)

■日時:6月25日(火)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



## 6/26 (水) 怖いぞ! 怒る鬼平、叱る鬼平 —「鬼平お名前帖」を作った編集者が語る池波正太郎—

講師：名女川 勝彦(元株式会社文藝春秋取締役)

池波正太郎の代表時代小説『鬼平犯科帳』(文藝春秋)は登場人物の多さから、死んだはずの盗賊などが「再登場」する問題が発生しました。そこで池波のために作ったのが手製「お名前帖」です。池波の生前をふり返りながらその肉声の一端をご紹介します、参考までに「お名前帖」の一部(複写)をお持ち帰りいただきます。

■日時:6月26日(水):19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



## 7/3 (水) 世界の音楽2019 口琴の響き、その秘密 ～たったひとつの音源から、様々な音色を引き出すには～

講師：直川 礼緒(日本口琴協会代表)

ユーラシア大陸で生まれ、世界中で演奏されている楽器、口琴。たったひとつしか音源を持たない、一見「未発達」なこの楽器から、さまざまな音色や音程を引き出すために、重要な役割を果たす「共鳴器としての人間の口腔」と「倍音」とに焦点をあて、音響的な観点から口琴について考えます。

■日時:7月3日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



## 7/5 (金) 千代田区民講座 世界から日本を、宇宙から地球を見る眼、 「グローバル・アイ」を語る

講師：渥美 育子(一般社団法人 グローバル教育研究所 理事長)

ビジネスの基盤や人間性など万物を見通す知性「グローバル・アイ」。その本質とともに、企業や若者への普及や教育活動をわかりやすく語ります。(主催:NPO法人神田雑学大学、共催:日比谷図書館)

■日時:7月5日(金)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:60名 ■参加費:無料  
※5月22日(水)から千代田区民受付開始。区民以外は5月29日(水)から受付開始。



## 7/10 (水) 平野啓一郎が語る、平野啓一郎 —20年の作家生活とその作品群

講師：平野 啓一郎(小説家)

2018年に作家生活20周年を迎えた平野啓一郎氏。14歳で三島由紀夫の『金閣寺』に衝撃を受け、文学の読者となった平野氏は、21歳でデビュー作となる『日蝕』を書き、現在に至るまで様々な小説、論評を発表しています。その数々の作品群と20年の作家生活を、平野氏本人が読み解きます。

■日時:7月10日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円



撮影/瀧本幹也

## 7/11 (木) 地図から読み解く自然災害のリスク —自然災害は、土地の成り立ちと利用方法とのミスマッチング—

講師：乙井 康成(国土交通省 国土地理院 関東地方測量部長)

平地の地形の多くは河川活動により作られている。例えば、かつて川の流れていた場所は周辺より低く、大雨の時は水が集まるのが予想でき、土地の特性と利用方法が合わないと災害が起きるリスクが高まる。国土地理院の地図などを引きながら、過去の被災事例を基に、どのような場所がどのような災害を受ける危険性が高いのかを紹介する。(協力:国土地理院)



自然堤防

■日時:7月11日(木)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員:200名 ■参加費:500円

## 7/16 (火)他 これだけは知っておきたい中国経済2019(全2回)

講師：丸川知雄(東京大学社会科学研究所教授)

第1回 「中国の経済成長と世界経済のゆくえ」  
2018年に勃発した米中貿易戦争は日本をはじめ世界にさまざまな影響を及ぼしている。これから中国経済がさらに拡大するとしたら世界はどうなるのだろうか。日本は米中の狭間をどう泳いでいったらいいのかを考える。



第2回 「中国のハイテク産業の現状と展望」  
米中貿易戦争の本質はハイテク覇権をめぐる争いだという解釈がある。中国のハイテク産業に対する野望を解明し、その発展の可能性と問題点、日本など他国に対するインパクトについて論じる。

■日時:第1回 7月16日(火)19:00～20:30(18:30開場)  
第2回 8月1日(木)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:各回60名 ■参加費:各回1000円

## 7/24 (水) 第14回 ジャパンナレッジ講演会 辞書編集者の平成ことば考 ～辞書編集者を悩ませる、日本語⑦

講師：神永 暁(国語辞典編集者)

「ヤバい」の変遷、「小泉劇場、忖度……政治家の言葉はどう変化した?」「平成の国語辞典七変化」——昭和55年の出版社入社以来、辞書編集ひとすじの人生を送っている神永さん。昭和後半から平成まで出会った印象的な日本語を取り上げます。(主催:ネットアドバンス、共催:日比谷図書館)

■日時:7月24日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:60名 ■参加費:1000円



## 7/27 (土) 絵本を手にした子どもたちの今 ～絵本を届けてきた20年～

講師：鈴木 晶子(公益社団法人ジャンティ国際ボランティア会 広報リレーションズ課課長)

アジアの子どもたちに絵本を届けるというボランティア活動をご存知でしょうか。子どもたちは、絵本を読むことではじめて世界を知り、文化を知り、歴史を学びます。その子どもたちが、どのような人生を歩き始めたのか。20年間の活動を通して見えてきた絵本の力をお話しいたします。講演会の後半では、シールを貼って翻訳絵本をつくるワークショップを行います。



写真:©Yoshifumi Kawabata

■日時:7月27日(土)14:00～16:30(13:30開場)  
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員:40名 ■参加費:1500円(材料費込)  
※完成した絵本はアジアの子どもたちに贈るため、持ち帰りできません。

## ◆古文書塾てらこや体験講座◆

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。7月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずは体験講座をお試ください。



	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水) 10:20～	6/19
	開国ニッポンの外国人—教室で語るドキュメンタリー番組	(水) 13:30～	6/26
	商家文書を読みとく—三井の子弟教育	(水) 19:00～	6/26
	江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	6/27
	江戸・明治の書状を読む—形式と内容、一步から	(金) 18:30～	6/28
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	6/22

■参加費:各講座1000円  
■定員:各講座23名(事前申込順)  
■会場:4階 セミナールーム(会議室)  
■資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340)  
日比谷図書館 古文書塾てらこや担当迄

体験講座  
各回  
1000円

## 特別展 アートになった猫たち展 6月23日(日)まで!

昔から人々の暮らしに関わり愛されてきた猫。その姿は浮世絵にも多く描かれ、様々な愛らしい表情に癒されます。そんな猫づくしな特別展も6月23日(日)まで!猫派はもちろん犬派の方も、浮世絵好きの方も、ちょっと癒されたい方も…是非お越しください。5月21日(火)からは一部展示替えも行っていきます。また、公式twitterアートになった猫たち展 in 日比谷(@artnanekohibiya)も開設中!会場を出ると猫の被り物をかぶってポスターの一部になれる撮影コーナーもあるので #アートな猫日比谷 をつけて、SNSへ投稿して ニャ ^o^o^



【お詫びと訂正】ポモーフ5月号にてお知らせいたしました「特別展 アートになった猫たち展 公式twitter」のアカウント名につきまして、下記のとおり訂正させていただきます。心よりお詫び申し上げます。

誤】@artnaneko\_hibiya → 正】@artnanekohibiya